

第4回新丸山ダム水源地域協議会 議事概要

○日時：令和5年3月7日（火）13：30～15：00

○場所：八百津ファミリーセンター 講義室

○出席者：瑞浪市長 水野光二、恵那市長 小坂喬峰、八百津町長 金子政則、御嵩町長 渡邊公夫、
関西電力株式会社東海支社長 小森浩幸、木曾川水系ダム統合管理事務所長 渡邊伸也、
新丸山ダム工事事務所長 加納啓司

<主な協議内容>

1. 新丸山ダム周辺地域振興ビジョンについて

地域振興の方向性や基本的な考え方を取りまとめた「新丸山ダム周辺地域振興ビジョン（最終案）」の構成及び内容について以下の通りご説明した。

（ビジョンの内容説明）

- ・新丸山ダム周辺地域振興ビジョンは、新丸山ダム水源地域協議会が主体となり、地域事業者や旅行事業者等の様々な関係者の意見を取入れながら、社会の変化や地域の特徴を分析し、中長期的・広域的な視点に立って、様々な主体と幅広い分野において連携を図り、ダム周辺地域の魅力を継続的に高める地域振興の「基本的な考え」を取りまとめたものです。
- ・周辺地域が目指す地域振興とは、豊富な地域資源を活かし、更に磨きをかけて新たな地域資源を発掘・つなげて、周辺地域全体の魅力を高めていくことである。
- ・関係機関にて魅力ある地域資源を共有し、ネットワークの形成を図ることにより、周辺地域全体の満足度を向上させ、リピーターや関係人口を増やすことで、ヒト・モノ・物流や交流が活性化し、消費行動を高め持続的に地域経済に好循環を生み出すことを目指す。
- ・2市2町と新丸山ダム関係機関が中心となり効果が発揮されるよう、様々な主体と横断的に連携して、地域振興を進めていくことで、木曾川流域内の連携と交流によるバランスの取れた流域圏の発展に寄与すると考えている。

上記のご説明でビジョンの内容について承認を得たため、令和5年3月7日をもって「新丸山ダム周辺地域振興ビジョン」を策定した。

今後の新丸山ダム及び周辺地域振興について、期待することや意気込みについて、協議会会員の意見交換を行った。各会員の意見は、以下の通りである。

（瑞浪市 水野市長）

- ・新丸山ダム及びダム周辺の観光資源をどのように活かすかが重要である。
- ・瑞浪市としては、新五月橋が一つの大きなポイントになると考えており、瑞浪市と八百津町で連携を図って進めて行く。
- ・新五月橋の活用について、地域の皆さんから様々な意見や提案をふまえた活用案を取りまとめて提案する予定である。

（恵那市 小坂市長）

- ・飯地町では付替道路工事の真最中であり、住民の意識も変わりつつある。
- ・新丸山ダムのような大きなプロジェクトが動き出すことで、未来がみえ新しい可能性を肌で感じている。
- ・付替道路建設後は、飯地町から恵那市市街地に行くよりも、八百津町や御嵩町に行く方が早くなるため、恵那市市街地にも、多くの人を訪れるような施策を考えていく予定である。
- ・今回ビジョンを策定できたが、今後はこれを活かし、地域に多くの人を訪れ、魅力を存分に味わって頂けるプログラムが用意できると良いと思う。
- ・地域の皆様と手を取りあって、地域の活性化を図るために、恵那市も汗をかいていきたい。

(八百津町 金子町長)

- ・新丸山ダム工事事務所を通じて、大学生や自治体職員、コンサル職員が 900 名程、ダムの見学に来訪している。また杉原千畝記念館への来訪者も、ダムに興味のある人は見学に来ている。
- ・コロナ前は、杉原千畝記念にイスラエルから 2000 人/年ほど来訪しており、近年 3 年はいなかったが、今年に入ってから 250 人ほど既に来訪客が戻ってきており、新丸山ダムとセットで見学するようなコース設定を考えている。

(御嵩町 渡邊町長)

- ・防災・観光の視点で、新丸山ダムの建設に期待している。丸山ダムの前に嵩上げして新丸山ダムを建設する手法は非常に真新しい手法で、観光地として十分成り立つ要素はあると思う。
- ・御嵩町内で、新丸山ダム建設事業の認知度をさらに高めていくことが重要である。
- ・国の重要文化財である御嵩町の願興寺は、本堂の組立て直しを進めており、令和 8 年度に竣工予定である。願興寺とダムを組み合わせながら、足を運んで頂けるようなプラン開発や、周辺地域を 1 周できるようなコースが提案できると良いと思う。

(関西電力東海支社 小森支社長)

- ・策定されたビジョンを踏まえて、今後具体的に実行していくために、2 市 2 町とダム関係機関が有機的に繋がり、ダム周辺が持続的に魅力ある地域に活性化していくことを期待している。
- ・関西電力としても、古くからこの地域で水力発電を行っており、地域振興のためにできることは協力していく。

(木曾川ダム統合管理事務所 渡邊所長)

- ・ビジョンは基本計画であり、今後、毎年行う取組みが重要なので、本日はキックオフになると思う。
- ・全国的には、ダムのインフラツーリズムの動きも活発化しており、首都圏では宮ヶ瀬ダムや八ッ場ダムに観光客が多く訪れている。丸山ダム・新丸山ダムにおいても、名古屋圏から近くりニア開通により立地条件が良くなるため、今後の活動によって期待できる地域だと思う。
- ・近隣にある数多くの関西電力のダムや、小里川ダム、阿木川ダム等、ダムで連携した施策も面白い。

(新丸山ダム工事事務所 加納所長)

- ・地域振興の方向性や基本的な考え方を取りまとめた「新丸山ダム周辺地域振興ビジョン」は、新丸山ダム建設事業を通じて、実現したい地域振興の未来や将来像を明文化したものである。
- ・重要なのはこの目標に向かってより具体的な取組みを実践していくことである。引き続き、皆さまとタッグを組んで取組みを進めて参りたい。

2. 魅力をつなぐプロジェクトの今年度の検討報告について

2 市 2 町が連携して取組みを加速させる具体的な地域振興策を検討することを目的に、今年度 3 回実施したワーキンググループの検討内容について、以下の通り検討内容を報告した。

(魅力をつなぐプロジェクトの検討報告)

- ・今年度のワーキンググループで検討した主な内容として、魅力をつなぐプロジェクトの名称と方針、内容(案)について検討してきた。
- ・プロジェクトは 6 つあり、①ココダケグルメプロジェクト(グルメプロジェクト)、②筋肉・脂肪燃焼 体に優しいプロジェクト(自然アクティビティプロジェクト)、③今昔プロジェクト(歴史文化プロジェクト)、④ダムマイスターになれるか?!プロジェクト(防災プロジェクト)、⑤バズ(る)プロジェクト(情報発信プロジェクト 1)、ポイントゲットだぜ~プロジェクト(情報発信プロジェクト 2)を作成した。今後、地域の人を巻き込んで進めていく中で親しみやすいプロジェクト名称を決定した。
- ・来年度以降プロジェクトを実行していくために、様々な人を巻き込んで、具体化していきたい。

上記の魅力をつなぐプロジェクトを今後進めていく上で、プロジェクト内容に関する意見や期待について、協議会会員の意見交換を行った。会員の意見は、以下の通りである。

(瑞浪市 水野市長)

- ・関係者の思いが反映された、おもしろい名称のプロジェクトが6つ策定された。
- ・バズ（る）プロジェクトや、ポイントゲットだぜ～プロジェクト等を活用し、2市2町の豊富な地域資源を如何に発信し、来訪してもらえる事である。
- ・瑞浪市はゴルフの町でもあるので、ゴルフに関連した内容を提案したいと思っている。
- ・地歌舞伎についても、講演が無い時も楽しめるお披露目会を実施している他、鬘や化粧・衣装を着用して記念撮影ができる体験を行っており、国内だけでなく海外からの来訪者に好評であるため、プロジェクトの内容に盛り込んで提案していきたい。
- ・また、小里川ダムでもダム貯蔵酒の取組みを実施しているため、瑞浪市の酒造会社やお酒を飲む器についても、ココダケグルメプロジェクトに盛り込むことを提案する。

(恵那市 小坂市長)

- ・どれも面白く楽しそうな意見ばかりなので、どれか1つでも来年・再来年に実行できると良い。
- ・コロナが収束に向かっているため、これから再び海外のお客様が増える可能性も十分にある。世界に向けて情報発信していく目線も重要なので、今後、プロジェクト内容に盛り込んでいくと良い。

(八百津町 金子町長)

- ・ダムを巡る番組の取材が近々予定されている等、問い合わせが定期的に来ている。新丸山ダムに関する幅広い情報発信をしていくことが重要である。
- ・丸山ダム・新丸山ダムや水源地域協議会の共通ロゴやオリジナル商品を開発し、関係者でPRや情報発信していくことも重要である。

(御嵩町 渡邊町長)

- ・海外からの来訪客が中山道を歩き、瑞浪市の大黒屋の畳の部屋で宿泊するツアーが、非常に人気がある。
- ・海外からの来訪客は、都心だけではなく、地方都市の自然や日本の日常生活に興味があるため、自然に恵まれたダムにも興味を持つ可能性は十分あると考える。
- ・そのため、2市2町の地域振興を検討するにあたり、外国人観光客をターゲットにすることもイメージの中に入れておくべきだと思う。

(関西電力東海支社 小森支社長)

- ・プロジェクト名称の付け方から面白く、非常に今後の展開が楽しみである。
- ・今後のプロジェクトの展開にあたっては、一過性のイベントだけではなく、継続的に人を呼び込めるような計画を立案することが重要である。
- ・プロジェクトを進めるにあたり、ターゲットを意識しながら具体化していけばよいのではないかと感じている。新丸山ダムやこの周辺地域にしかないココダケ感のある魅力をつくり、他地域と差別化をする必要がある。
- ・最も重要なのは、バズるプロジェクト等の情報発信で、如何に呼び込む対象に魅力を伝え、SNSで拡散していくか、多くの人に来訪したいと思ってもらえるかがポイントである。
- ・発電所やダムと関連したプロジェクトや、森林資源が豊富な地域なのでカーボンニュートラル等の観点でも協力できればと思っている。

(木曾川ダム統合管理事務所 渡邊所長)

- ・これから高齢化社会で裕福な老人が増えてくるので、そのような層を狙ったプロジェクトも面白いのではないかと思う。
- ・ダム関連では、ダム印は小里川ダムが先進的に実施しており、長島ダムではダムコーヒーの取組みを実施している。良い事例は横展開で共有して進めていけると良い。
- ・歴史の観点では丸山ダムも該当しており、「もうすぐ無くなる」等のネーミングを入れてPRする方法もある。
- ・ダムマニアは熱心な人が多く、交換した部品の無料配布を行うと、先着順にあつという間に配布が終わるといった事例がある。同様のイベントを行うことも効果的である。

(新丸山ダム工事事務所 加納所長)

- ・平成 29 年から協議会を開始し、新丸山ダム周辺地域振興ビジョンを策定することができた。
- ・ビジョンはあくまで将来像であり、スタートラインに立ったところです。
- ・具体的な取り組みはこれから始まる。プロジェクトの目標実現に向けて、協議会の皆さまとタッグを組んで地域の活性化を進めてまいりたい。

3. 令和5年度の予定

次年度以降は、会員の皆さまから頂いた意見を踏まえ、魅力をつなぐプロジェクトを1つでも実現化できるように、具体化していく。実行していくために、アクションプランをワーキンググループで議論を行い、年度末にアクションプランをご報告することを目標に進めて行く。